第 189 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)

A. 日時：2008 年 3 月 14 日(金) 10:00～12:10

B. 場所：寺山パシフィックビル会議室

C. 出席者(順不同，敬称略)：

委員長： 穂積(愛工大)

委　員： 伊藤(日本ガイシ)，渡辺(日立電線)，加藤(新潟大)，江原(武蔵工大)

幹　事： 田中康(武蔵工大)，内田(中部電力)

幹事補： 岡下(昭和電線)，高橋俊(電中研)

以上計 9 名

D. 提出資料

番号なし 第 188 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)　幹事団

189-1　誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿　幹事団

189-2　基礎・材料・共通部門 運営委員会情報および第 75 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録　穂積委員長

189-3　平成 19 年度調査専門委員会「活動方針及び報告書」提出のお願いについて　幹事団(電気学会)

189-4　高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会 解散報告書(案)　田中康幹事

189-5　第 1 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性と デバイス・センサ応用調査専門委員会 議事録　加藤委員

189-6　第 2 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性と デバイス・センサ応用調査専門委員会 議事録　加藤委員

189-7　電気学会 高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会 第 4 回議事録　田中康幹事

189-8　電気学会 高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会 第 5 回議事録　田中康幹事

189-9　調査専門委員会フォローシート(2007 年度計画)　幹事団

189-10　平成 20 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)　幹事団

189-11　ISEIM2008 のアブストラクト投稿状況(2008 年 3 月 13 日 11 時現在)　幹事団

189-12　ISEIM2008 Invited Speaker 候補　幹事団

189-13　ISE13 Call for papers　幹事団

189-14　第 29 回 国際活動委員会における意見交換メモ　田中康幹事

189-15　平成 20 年度電気学会東京支部連合研究会開催ご協力のお願い　幹事団(電気学会)

189-16　H20 年度 A 部門大会テーマ付セッション募集　幹事団(電気学会)

E.議事内容

1. 委員長挨拶

穂積委員長より，挨拶があり，委員交代などタイムリーな手続きを実施するよう呼びかけがあった。

2. 議事録の確認，承認

高橋俊幹事補より第 188 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録(案)の報告があり，承認された。

3. 名簿確認

資料 189-1 が確認された。修正事項等あれば，岡下幹事補まで各自連絡することとした。

4. 第 75 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録

資料 189-2 に基づき，穂積委員長より報告があった。新領域研究グループ制度が設立されたこと(活動費支給あり)，「絶縁診断に基づく・・・調査専門委員会」はプラント会社の委員が少ないとの指摘に対し，JFE および出光より参画頂く方向で調整中であることなどが報告された。

5. 平成 19 年度調査専門委員会「活動方針及び報告書」提出の依頼

電気学会より各調査専門委員長宛に依頼されているメールが，資料 189-3 として紹介された。2 号委員各位にあたっては，是非とも提出頂きたいと穂積委員長よりコメントがあった。

6. 「高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会」解散報告書(案)

資料 189-4 に基づき，田中康幹事より説明があり，表記などを若干修正の上，穂積委員長より次回の A 部門研究調査運営委員会に付議することとした。

7. 有機薄膜及び複合膜の・・・調査専門委員会 議事録

資料 189-5 および 189-6 に基づき，加藤委員より報告があった。東京支部連合研究会へは参加しないこととした旨，報告があった。

8. 高分子材料と放射線の・・・調査専門委員会 議事録

資料 189-7 および 189-8 に基づき，田中康幹事より報告があった。

9. 調査専門委員会フォローシート(2007 年度計画)

資料 189-9 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

- 「空間電荷関係」の調査専門委員会は 8 月に設置趣意書を提出する方向で調整することとした。
- 「絶縁診断に基づく・・・」調査専門委員会は 2008 年 4 月に設置であり，4 月 11 日に芝浦工大で委員会を開催予定。
- 「有機誘電体・半導体の物理・・・」，「環境対応絶縁材料・・・」「高電界電気絶縁における・・・」各調査専門委員会は，穂積委員長よりフォローすることとした。
- 「ナノ構造制御有機薄膜・・・」および「情報通信・・・」各調査専門委員会は，成果物の刊行が完了したため，次回のフォローシートから削除することとした。

8. 平成 20 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)

資料 189-10 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

・10 月に秋田で開催予定の研究会は，ISEIM2008 開催との兼ね合いを見て，11 月もしくは 12 月に開催の方向で穂積委員長にて秋田大学の先生方と協議することとした。

・10 月のポリマーがいし関連の研究会は中止とし，3 月の研究会に「表面，界面」として盛り込むこととした。

・岩本委員への研究会開催可否の打診を穂積委員長より行うこととした。

・技術委員会は 5 月，9 月(ISEIM 会期中を目途，見学会あり)，12 月，3 月に開催することとした。

9. ISEIM2008 について

資料 189-11 に基づき，高橋俊幹事補より 3 月 13 日 11 時現在の投稿状況が紹介された。また，資料 189-12 に基づき，内田幹事より Invited speaker の選定状況が説明された。主な議論は以下の通り。

・投稿件数は資料作成後に 4 件追加があったため，総件数 166 件となっている。

・韓国からの投稿数を増やす方向で各方面に働きかけることとした。

・Invited speaker については，宇宙・帯電関係で田中康幹事に 1 名選定いただくこととした。

10. ISE13 について

資料 189-13 に基づき，穂積委員長より投稿の依頼があった。

11. 国際活動委員会における意見交換メモ

資料 189-14 に基づき田中康幹事より説明があり，ISEIM2008 の IEEE に対する書類は穂積 ISEIM2008 組織委員長名で提出することとした。

12. 平成 20 年度電気学会東京支部連合研究会について

資料 189-15 に基づき，高橋俊幹事補より説明があり，議論の結果，当該研究会には DEI 技術委員会としては参画しないこととし，高橋俊幹事補より電気学会に連絡することとした。

13. H20 A 部門大会テーマ付きセッションについて

資料 189-16 に基づき，高橋俊幹事補より説明があり，議論の結果，DEI 技術委員会からは提案なしとすることとし，高橋俊幹事補より関係者に連絡することとした。

F. 次回委員会

次回は 5 月 22 日午前中に開催することとした。

以上